

## 調査報告

## 正月料理の実態（第2報）

石 澤 恵美子・坂 本 恵

## Research on Special New Year's Dishes（Ⅱ）

ISHIZAWA Emiko and SAKAMOTO Megumi

## 1. はじめに

正月は1年の始まりであり、元日は年間を通じて最も心改まる大切な節目の日である。それを祝う食べ物には、鏡餅、屠蘇、雑煮、おせち料理などがあげられそれぞれが古い時代の人々の知恵によって生まれ時代の流れとともに変遷し現在に至っている<sup>1)</sup>。

しかし、近年の食環境においては、目をみはるものがあり、その変動要因としては、都市化、核家族化の進行、勤労女性の増加、外食産業や食品産業の発展などがあげられる。さらに調理済み食品の購入、外食、給食などの増加により家庭内調理は減少し、食をめぐる価値観などが著しく変動している<sup>2)</sup>。

正月料理についても例外ではなく百貨店やスーパーマーケット、さらにはインターネットによる通信販売などによりおせちセットや調理済みおせち料理を容易に購入することができる。

家庭でのおせち料理について学生に質問する

と、作らない、食べない、嫌い、めんどうであるという学生もいたため「正月料理の実態」について把握することを目的に第1報では調査した。本稿では対象者の出身地方、手作り、購入したいおせち料理の設問を加え検討したので報告する。

## 2. 調査方法

調査対象者は北海道文教大学人間科学部健康栄養学科1年に在学する北海道出身者143名で、そのうち有効回答者数は143名であった。

調査は平成17年1月質問紙による選択肢（一部記述式）で実施した。

調査内容は、対象者の出身地、家族構成及び形態、実家と祖父母宅の距離間。おせち料理について（用意の有無、手作り料理、購入料理、盛り付ける器、準備に要する日数、料理担当者、喫食日と日数）。大晦日に喫食する料理、場所、人数、元日に喫食する料理、場所、人数。手作り又は購入したいおせち料理。大晦日、元日に

作りたい料理などの22項目を設定した（資料1）。

### 3. 結果および考察

#### 1) 調査対象者について

調査対象者は、北海道出身学生143名（男子23名・女子120名）であった。対象者の出身地は道央地方が49%と1番多くそのほとんどが札幌及び近郊であった（図1）。

家族構成については両親と子供の世帯が

78%、祖父母との同居が17%であった（図2）。祖父母が近くに住んでいると回答した学生は41%であった（図3）。

#### 2) 正月料理について

おせちの用意については79%が用意すると回答していた（図4）。用意しない理由については大晦日のオードブルが残っているため、家族で好き嫌いがあるため、作るのに時間がかかるためなどであった。

手作りするおせち、購入するおせちについて

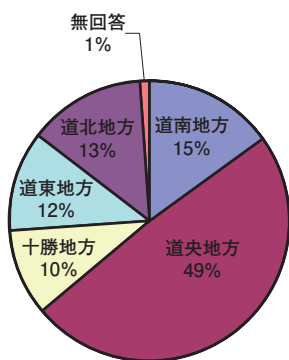


図1 地域別出身地

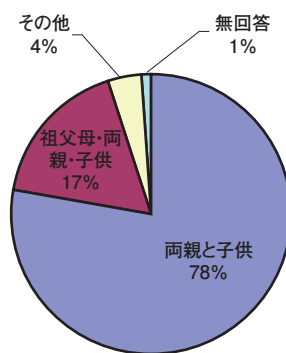


図2 家族構成

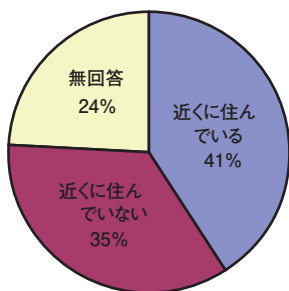


図3 実家と祖父母宅との距離

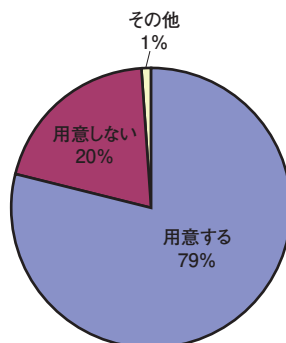


図4 おせちの用意

第1報<sup>3)</sup>では自由記述式であったためか雑煮をおせち料理ととらえていた学生が多かった。そこで今回は、前回回答の多かった料理18品目を選択肢（複数回答）とした。

手作りするおせち料理では旨煮82人、なます66人、黒豆65人、茶碗蒸60人、きんぴら46人と回答した学生が多かった（図5）。

購入するおせち料理についてはかまぼこ38人、数の子35人、伊達巻29人と回答した学生が多かった（図6）。意外なところでは茶碗蒸

を購入すると回答した学生も9人いた。

盛りつける器については、重箱27%、皿23%、紙皿については0%、その他が50%であった（図7）。その他として使用される器についての記述は、具体的に記入している学生がいなかったが購入時に盛り付けられている器や、蓋付き耐熱容器などを使用しているのではないかと推察する。盛りつける器については、本やテレビなど媒体の影響もあるが、これではいけないという決まりごとがないのが現

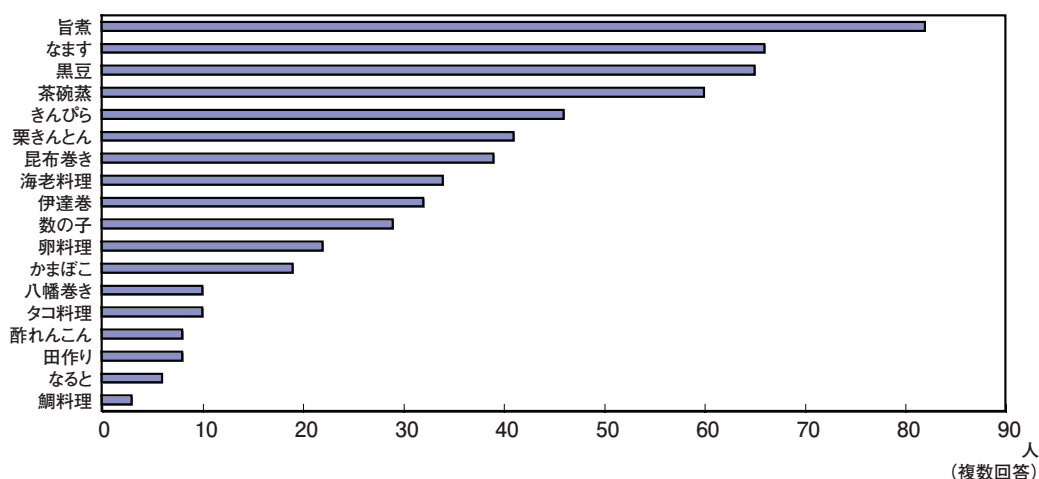


図5 手作りするおせち料理

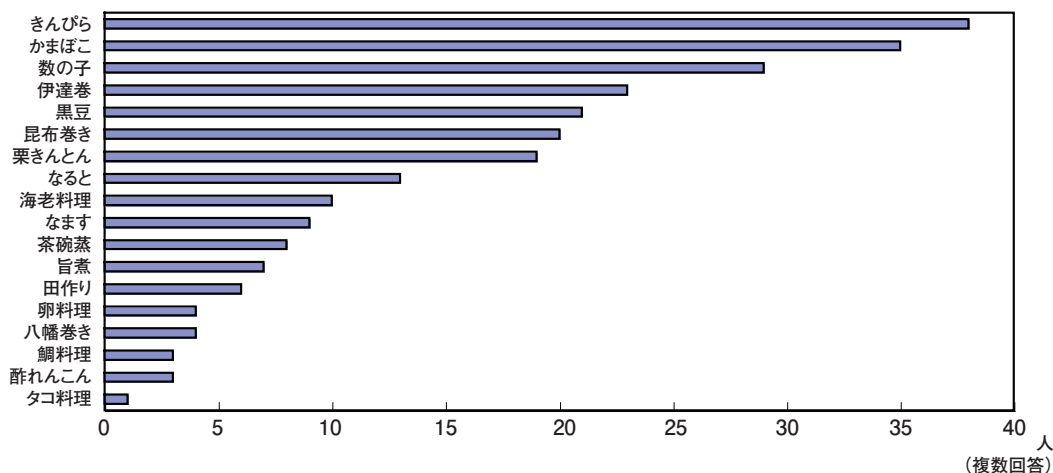


図6 購入するおせち料理

状である。後片付けのことを考えると、より簡便な容器の使用が増えていくことが推察されるため、今後は器について具体的な記入を求めるとともに、家庭における重箱の有無や年間使用頻度などについても調査をしたいと考える。

おせち料理の準備をはじめる時期は12月29～12月31が92%とほぼ大多数を占めていた(図8)。今後は日にち別に準備をする料理や作業工程などについても調査していきたい。

料理担当者については母が64%、祖母20%、父9%であった(図9)。料理担当者が母であ

ると回答した家庭が第1報<sup>3)</sup>の報告同様に多く、手作りする負担や家族数の減少を考え合わせると今後さらに調理済み料理の利用が増えていくと推察される。また、料理担当者は父であると回答した学生は第1報<sup>3)</sup>の2%から9%に増加している。勤労女性の増加により共働き家庭が増え、父親の料理作りへの参加が増加した結果ではないかと推察する。今までは食文化の継承は母親から子供へとされてきたが、今後は父親から子供へと継承されるパターンが増加してくることも考えられる。行事食は次世代へ

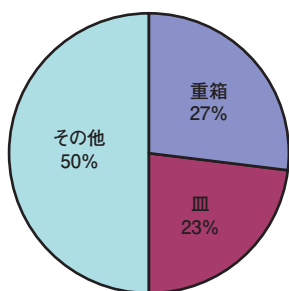


図7 盛り付ける器

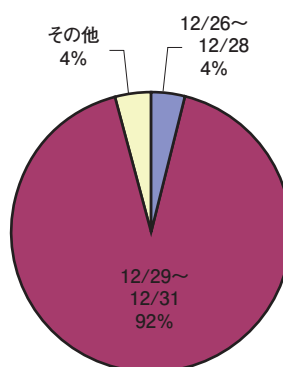


図8 準備をはじめる時期

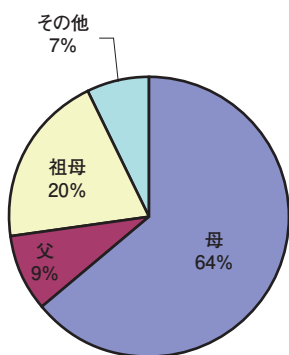


図9 料理担当者

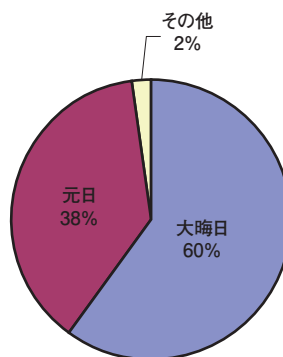


図10 おせち料理を食べ始める日

と伝承されていくべき大切な食文化であるが、「家庭の味」として両親から伝承されていくことは望ましいと考える。

おせち料理を食べはじめる日は大晦日が60％，元日38％と回答していた（図10）。

おせち料理を食べる日数は3日間56％，2日間35％，1日間4％，であった（図11）。今回の対象者については大晦日から1月2日まではおせち料理を食べるという結果が半数以上であった。

大晦日に食べる料理では年越しそば78人，生寿司53人，おせち22人であった。少数意見としてくじら汁やサラダなどの回答があった（図12）。年越しそばを食べる理由としては，細く長く，家運，寿命を延ばすなどの縁起担ぎが多かった<sup>5)</sup>。また，市販オードブルを食べる理由には，豪華だから，親族がホテルに勤めているのでやむおえずという現実的な理由もあげられていた。

元日に食べる料理としておせち71人，雑煮67人，餅8人，少数意見として鍋物か焼き肉という回答があった（図13）。おせちを食べる

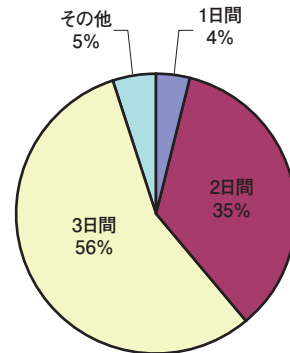


図11 おせち料理を食べる日数

理由として，大晦日に食べた物が残っているから，雑煮を食べる理由として温まるから，また，ジンギスカンを食べる理由として親族が集まるためという理由があげられた。

大晦日に過ごす場所は実家が79％，祖父母宅15％，親戚宅2％であった（図14）。その他として旅行先で過ごすという回答があった。

過ごす人数は，両親と自分を含めた兄弟の家

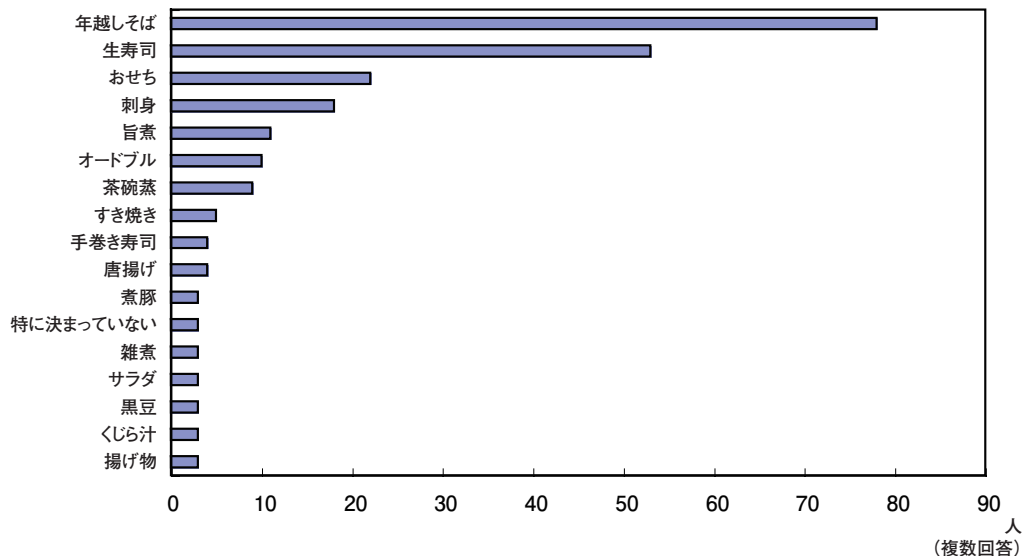


図12 大晦日に食べる料理

族4人と回答した学生が40人、次に5人が34人であり、10人以上の回答は9人であった。

元日に過ごす場所は実家が72%、祖父母宅18%、親戚宅2%であった(図15)。その他としてバイト先や、旅行先、友人宅という回答があった。

過ごす人数は、5人と回答した学生が38人、次に4人が33人、10人以上の回答が12人であった。

大晦日と元日に過ごす場所、人数については、ほぼ同様の結果であった。

手作りしたいおせち料理は栗きんとん59人、伊達巻52人、旨煮45人であり、少数意見として、授業で作ったものという回答や、海沿いの町の出身者からはくじら汁という回答もあった(図16)。

購入したいおせち料理では蒲鉾37人、かずこの30人、黒豆20人であり、少数意見として

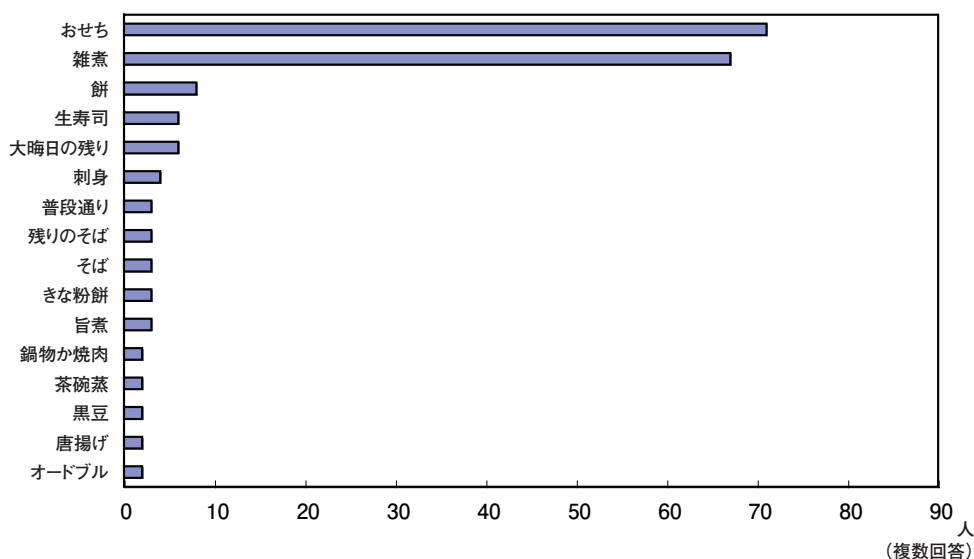


図13 元日に食べる料理

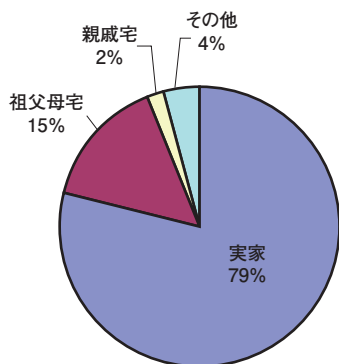


図14 大晦日に過ごす場所

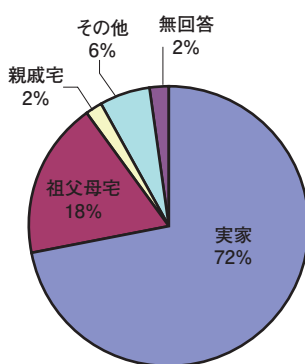


図15 元日に過ごす場所

5000円位のオードブルやいずし、また全て購入という回答もあった（図17）。

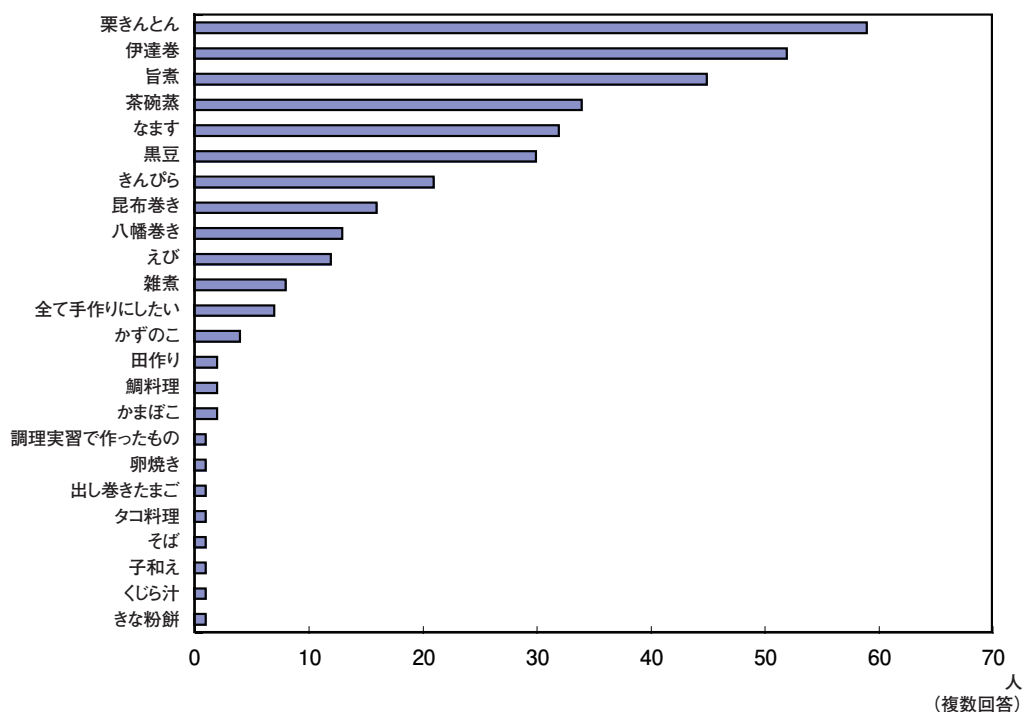


図16 手作りしたいおせち料理

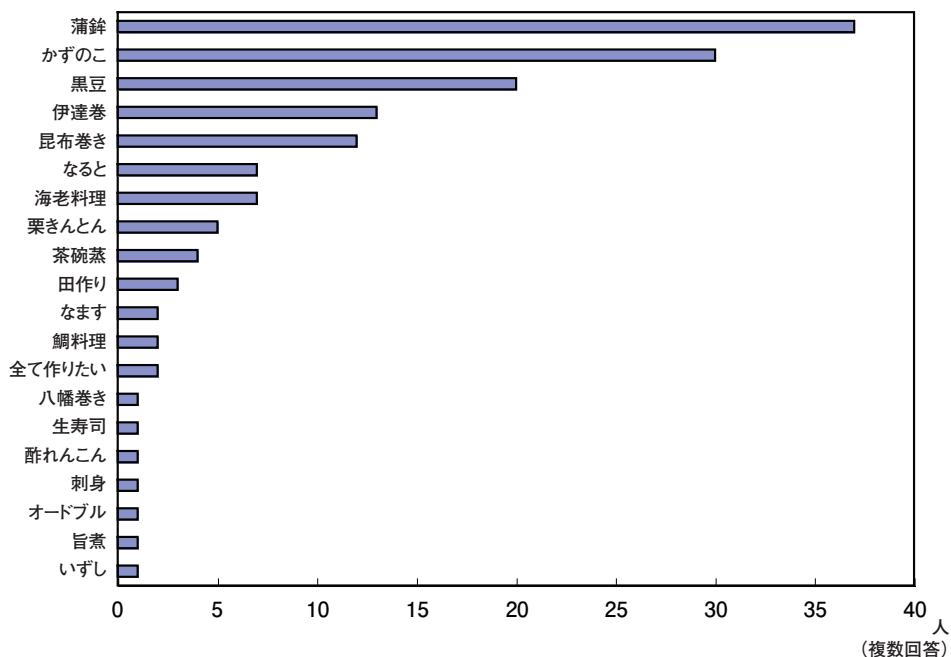


図17 購入したいおせち料理

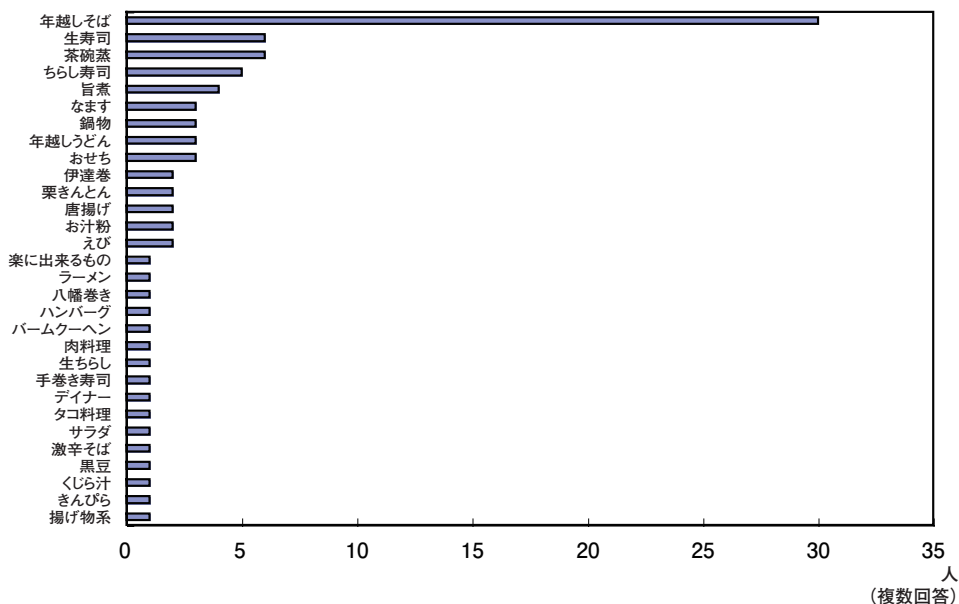


図18 大晦日に作りたい料理

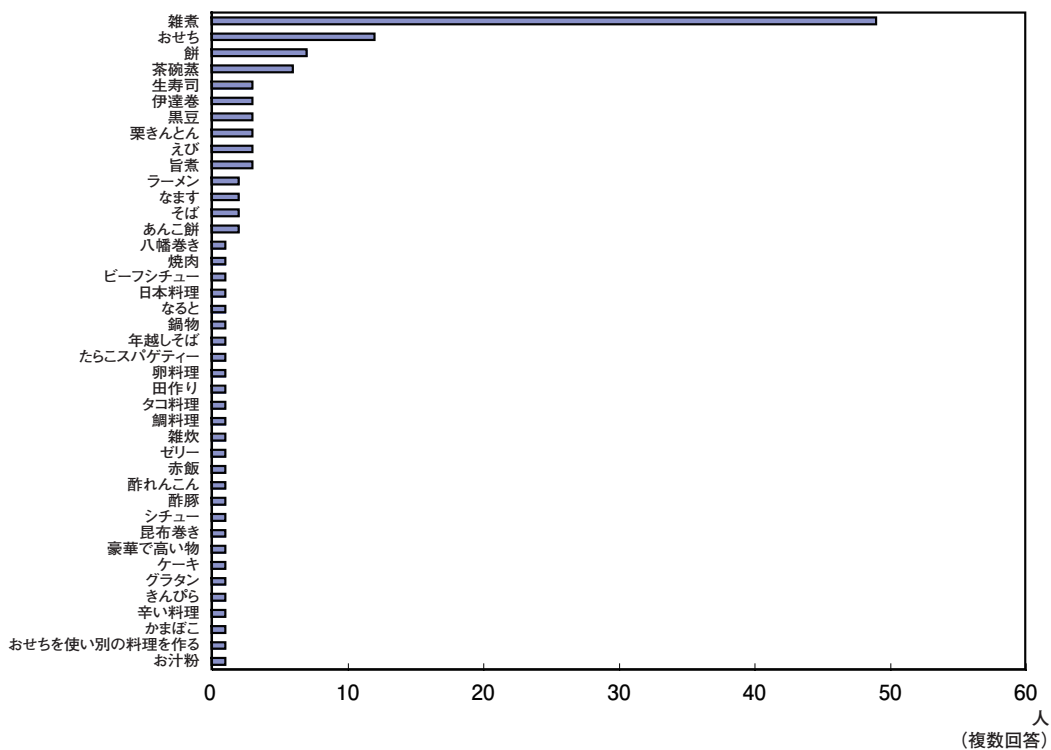


図19 元日に作りたい料理

自分で作りたい大晦日の料理は年越しそば 30人、生寿司 6人、茶碗蒸 6人であった。少

数意見としてくじら汁や激辛そば、ドイツに興味があるという学生は大晦日に食べる菓子とい



う理由からバームクーヘンという回答もあった（図18）。

自分で作りたい元日の料理では雑煮49人、おせち12人、茶碗蒸7人であった。正月に食べる料理はおせちであると認識している学生が意外に多い結果であった。少数意見としておせちを使い違う料理を作る。辛い料理、ケーキという回答もあった（図19）。

手作りしたい料理として大晦日は年越しそば、元日は雑煮が多かった。第1報同様<sup>3)</sup>家で作った方がおいしく温かい料理は手作り料理として今後も継承されていくことが今回の結果においても確認された。また、対象者の年代にはあまり好まれなと推察される酢の料理「なます」については大晦日、元日共に少数ではあるが作りたいという回答もあった。

#### 4. まとめ

本学人間科学部健康栄養学科に在学する北海道出身の学生を対象に正月料理の実態について調査し以下の結果を得た。

- ① おせち料理を用意すると回答した学生は79%であった。手作りするおせち料理については旨煮、購入するおせち料理についてはかまぼこが第1位の結果となった。

盛り付け方法については重箱27%、皿23%、紙皿については0%であった。その他という回答が全体の半数を占めている。

- ② 料理担当者が父という回答が第1報<sup>3)</sup>2%から今回9%に増加していた。どのような料理を担当するのかについても今後調査したいと考える。

- ③ 大晦日に食べる料理は年越しそば78人、生寿司53人、おせち22人であった。元日に食べる料理はおせち71人、雑煮67人、餅8人であった。

手作りしたい料理として大晦日は年越しそば、元日は雑煮が多かった。第1報<sup>3)</sup>同様、食の外部化が進んでも、そばや雑煮などは手作り料として今後も継承されて行く事が示唆された。

今回の結果をふまえ、今後は調査内容をさらに検討し地域別正月料理の実態について比較検討したいと考える。

#### 引用・参考文献

- 1) 松下幸子（1991）、祝いの食文化、東京美術、東京
- 2) 細谷憲政、難波三郎、花村満豊、藤沢良知（2002）、食生活論、第一出版、東京
- 3) 坂本恵、石澤恵美子（2005）、正月料理の実態、北海道文教大学研究紀要第29号
- 4) 岡田哲（2004）、たべもの起源事典、東京堂出版、東京

## 資料1

## 正月料理に関する調査

(1 男・2 女)

1. あなたはどの地域の出身ですか。  
 1. 道南地方      2. 道央地方      3. 十勝地方      4. 道東地方      5. 道北地方
2. 家族構成と形態を教えてください。  
 1. 両親と子供 (      人)      2. 祖父母両親子供 (      人)      3. その他 (      人)  
 ※ 子供とはあなたとあなたの兄弟、姉妹を含めたものです。
3. 2で1と答えた方に質問します。実家の近くに祖父母が住んでいますか。(同じ市町村及び近隣町位まで)  
 1. はい      2. いいえ
4. あなたの家ではおせち料理を用意しますか。(手作り、購入含める)  
 1. はい      2. いいえ
5. 4でいえと答えた方は用意しない理由を記入して下さい。
6. 4ではいと答えた方に質問します。手作りするおせち料理に○をつけて下さい。  
 1. 旨煮    2. 黒豆    3. 伊達巻    4. なます    5. 栗きんとん    6. きんぴら    7. 昆布巻  
 8. 海老料理    9. 茶碗蒸    10. 田作り    11. かまぼこ    12. 数の子    13. タコ料理    14. 鯛料理  
 15. 酢れんこん    16. 八幡巻き    17. なんと    18. 卵料理
7. 4ではいと答えた方に質問します。購入するおせち料理に○をつけて下さい。  
 1. 旨煮    2. 黒豆    3. 伊達巻    4. なます    5. 栗きんとん    6. きんぴら    7. 昆布巻  
 8. 海老料理    9. 茶碗蒸    10. 田作り    11. かまぼこ    12. 数の子    13. タコ料理    14. 鯛料理  
 15. 酢れんこん    16. 八幡巻き    17. なんと    18. 卵料理
8. おせち料理は何に盛り付けますか。  
 1. 重箱      2. 皿      3. 紙皿      4. その他 (      )
9. いつからおせち料理の準備をはじめますか。  
 1. 12月26日～28日      2. 12月29日～31日      3. その他 (      )
10. おせち料理はだれが作りますか。(複数可)  
 1. お母さん      2. お父さん      3. おばあさん      4. その他 (      )
11. おせち料理はいつから食べ始めますか。  
 1. 大晦日      2. 元日      3. その他
12. おせち料理は何日間食べますか。  
 1. 1日間      2. 2日間      3. 3日間      4. その他 (      )

13. あなたは12/31(大晦日)に何を食べますか。(複数可 食べる理由がある場合は記入して下さい。)  
例 生寿司, 鯨汁, こんにゃくの酢味噌和えー腸内をきれいにする為

料理:  
理由:

14. 大晦日はどこで過ごしますか。  
1. 実家                      2. 祖父母の家              3. 親戚の家 (祖父母が住んでいる)  
4. その他 (                      )

15. 大晦日は何人で過ごしますか人数を書いて下さい。

人

16. 1/1 (元日)は何を食べますか。食べる理由がある場合は記入して下さい。

料理:  
理由:

17. 1/1 (元日)はどこで過ごしますか。  
1. 実家                      2. 祖父母の家              3. 親戚の家 (祖父母が住んでいる)  
4. その他 (                      )

18. 1/1 (元日)は何人で過ごしますか人数を書いて下さい。

人

19. おせち料理をあなたが用意するとしたら手作りしたい料理を全て書いて下さい。

20. おせち料理をあなたが用意するとしたら購入したい料理を全て書いて下さい。

21. 12/31 (大晦日) にあなたが作って食べたい料理を書いて下さい。(複数可)

22. 1/1 (元日) にあなたが作って食べたい料理を書いて下さい。(複数可)

正月料理の実態を調査するものです。他の目的に使用しません。

